

令和2年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	にいがたなぎさの植物そだて隊	事業経緯	継 続	実施体制	協 力	担当所属	新潟支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	河川・道路等愛護活動支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

新潟海岸における種とり・種まきや海浜植物の観察を通じて自然の楽しみ方を覚え、海岸整備状況と海浜植物の生育状況から、整備の効果として創出された海浜植生の成立状況等を学ぶとともに、砂浜のさらなる安定を図るため、地域と国・市が連携し海浜植物の種をまいて育てる取り組みを行う。

2. 事業実施体制

主 催：真砂小学校区コミュニティ協議会
後 援：新潟市西区、国土交通省信濃川下流河川事務所
協 力：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

真砂小学校区コミュニティ協議会(全国で初めて指定された「海岸協力団体」)が主体となり、新潟市西区松海ヶ丘地先において、海浜保全のための海浜植物の植栽を年1回行う(例年3月に実施)。

◆にいがたなぎさの植物そだて隊
日 時：令和3年3月27日(土) 10:00～11:00
プログラム：レクチャー、ハマゴウ・ハマニンニク植栽
参加者：約40名(新型コロナウイルス対策として子どもは不参加)

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

市街地に近接した新潟海岸は市民の憩いの場、レクリエーションフィールドとして多くの人を集める人気のエリアである。一方、強風時の砂の飛散が海岸侵食の一因となり、海岸背後の国道等へ影響を及ぼしている。そこで、砂の飛散対策として海浜植物が有効であることから、その増加を図る取り組みを地域住民と行政が協働で進めるものである。

飛散対策の強化に自ら声と知恵を出し気運を高めていこうと、苗の植栽や勉強会などを積み重ねてきた地域住民が多数参加。海岸事業に対する認識の深化にもつながっている。



作業前のレクチャー



↑ ハマゴウの苗



← ハマゴウの植栽